

4. 当院における大建中湯の使用経験

長野赤十字病院 泌尿器科

○岸蔭 貴裕、天野 俊康、今尾 哲也

当院では2013年からダ・ヴィンチでのロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘術(robot-assisted radical prostatectomy: RARP)を行っているが、導入初期にイレウスとなった症例を経験した。

その後、RARPのクリニカルパスに大建中湯の内服を組み込み、術翌日から開始しイレウスの予防をおこなっている。

2013年8月から2015年12月までのRARP症例178例につきレトロスペクティブに検討を行った。

大建中湯の術後イレウス予防に対する効果は多くの研究で実証され、外科領域では広く使用されている。元来RARP後のイレウス発生率はそれほど高いものではないが、当院での使用成績を検証し、イレウス防止に寄与したのかどうかについて考察した。

また、近年、腸管だけでなく骨盤内臓器への効果についても示唆されている。当院では退院後も内服を継続している患者も多く、術後の創傷治癒や排尿機能に対する効果の可能性についても文献的考察を含め報告する。